

クリニカルバイオバンク学会ポスター口演

[登録時間]2022年4月13日(水)9時56分

[登録番号]10014

[発表形式]ポスター

[筆頭演者の姓名(フリガナ)]タザワ ヒロミツ

[筆頭演者の姓名(漢字)]田澤 裕光

[筆頭演者の所属施設]京都大学医学部附属病院クリニカルバイオリソースセンター

[抄録]

最先端生体試料情報管理・工程管理システム開発と実装に基づく高付加価値生体試料利活用事業モデル(京大病院CBRC)

1 京都大学医学部附属病院クリニカルバイオリソースセンター

田澤 裕光 1, 古谷 由希 1, 板倉 佳奈美 1, 菊地 理 1, 武藤 学 1

1.施設概要: 京都大学病院クリニカルバイオリソースセンター(CBRC)は2013年にがんバイオバンクとして設立され2018年にはがん以外の疾患にも対象を拡大し現在では京都大学病院の8割の診療科(22診療科・部門)を対象としている。CBRCの最大の特徴は①採取ポイントを設定して治療前、治療後約1年間の時系列採取を実施、②それぞれの採取ポイント毎に被検者の構造化診療情報と連携保有、さらに採取後の前処理・保管・払出しに関する国際基準品質情報を保有、③医学的に全身検査がされた健常者の試料と臨床情報を保有、④学術研究のみならず国内外の産業的利用も可能とする同意取得と倫理モデルを採用している事であり、その利用率は約35%に上る。またバンク用検体の登録・採取計画に関しオーダー・採取・保管・払出しの全工程を統括管理する仕組み(BIMS)とそれに連動する全自動生体試料モニタリングシステム(BRAHMS)さらに診療情報・品質情報の統合DBと高度な検索ツールのインフラを整備して研究者が必要な試料を効率的に検索・利用できる環境を整えている。

2.検体の種類: 血液試料(主に血漿,DNA),組織試料(生検試料、手術試料)

3.検体の譲渡対象: 検体の分譲は原則行わず研究目的・研究計画に基づく倫理承認の下に共同研究の形態で提供。知的財産権の保護や迅速な提供を可能とする誓約書方式と京都大学と7社が出資する事業会社KBBMを介したワンストップ事業も大きな特徴。

4.施設サイト URL: <https://www.kyotocbrc.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>